

1. 科目名 (単位数)	社会情報学 (2 単位)		3. 科目番号	EDIT1301
2. 授業担当教員	阿部都乃比吾不力			
4. 授業形態	講義と演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	情報化によって仕事や生活の様式が大きく変化している現代において、メディアや IT に関する知識は不可欠なものである。本講義では、携帯電話、電子メール、インターネットなどといった情報化社会のキーワードの理解をもとに、ワークスタイルやライフスタイルの変化を具体的な事例から学ぶ。また、社会におけるメディアのあり方や、メディアを使う人間（ユーザー）にも着目する。			
8. 学習目標	情報化社会が現代にもたらした影響や人間の心理や生理へ与える問題などについて理解し、情報化社会におけるメディアの在り方を理解することを目指す。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	原則として毎回の授業で課題を出題する。授業内容に関するレポートを提出し、次回の授業に向けた予習や準備を行うこと。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】西垣 通（編集）、伊藤 守（編集）『よくわかる社会情報学（やわらかアカデミズム・わかる）シリーズ』ミネルヴァ書房。 【参考書】講義の中で適宜紹介する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業で扱う情報化社会に関するそれぞれの内容について理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章で、自分の考えを述べられるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%]			
12. 受講生へのメッセージ	この講義では、こちらが提示する課題について、適宜発表やディスカッションしてもらうことによって、さまざまな視点から物事を考える習慣や、適切な判断力を身に付けてもらいたいと考えています。			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	イントロダクション	事前学習	シラバスと指定教科書の内容を確認し、今後の学習事項について把握する。	
		事後学習	オリエンテーションで学習した重要事項を学習ノート等に整理し、記憶の定着を促す。	
第 2 回	社会情報学の成立	事前学習	テキスト第 1 章を読み、社会情報学とはどのようなものであるかについてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 3 回	ネオ・サイバネティクスと生命圏	事前学習	テキスト第 2 章を読み、ネオ・サイバネティクスと生命圏についてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 4 回	情報過程の歴史的階層性	事前学習	テキスト第 3 章を読み、情報過程の歴史的階層性についてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 5 回	コンピュータのつくる言語映像圏	事前学習	テキスト第 4 章を読み、コンピュータのつくる言語映像圏についてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 6 回	コミュニケーション空間	事前学習	テキスト第 5 章を読み、コミュニケーション空間についてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 7 回	社会的意思決定	事前学習	テキスト第 6 章の前半を読み、社会的意思決定についてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 8 回	社会シミュレーション	事前学習	テキスト第 6 章の後半を読み、社会シミュレーションについてまとめる。	
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。	
第 9 回	社会システムへの応用 1	事前学習	テキスト第 7 章を読み、社会システムへの応用 1 についてまとめる。	

		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 0 回	社会システムへの応用 2	事前学習	テキスト第 8 章を読み、社会システムへの応用 2 についてまとめる。
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 1 回	デジタル化される文化	事前学習	テキスト第 9 章を読み、デジタル化される文化についてまとめる。
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 2 回	法・政策と情報	事前学習	テキスト第 10 章を読み、法・政策と情報についてまとめる。
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 3 回	近未来の社会と情報技術	事前学習	テキスト第 11 章を読み、近未来の社会と情報技術についてまとめる。
		事後学習	教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 4 回	課題作成	事前学習	何を作るか検討する。
		事後学習	教決めたテーマについて構想する。
第 1 5 回	講義の総括	事前学習	これまでの学習内容の中から理解できていない項目がないか教科書及びノート等を見直して確認する。
		事後学習	「講義の総括」で再学習があると判明した問題を解き直し、理解を深め、記憶の定着を促す。